



江津湖を浚渫してきれいにします



みんなで美しい町づくりを……(熊本市の白川端で)

県は美しい熊本づくりの三本柱の一つとして「郷土の緑化」を取り上げ、国道五十七号線を中心に二百六十六号線や主要道路沿線にむくげ、夾竹桃の花木やコスモスなどを植え、市町村にも委託して植栽し、熊本市内のシンボル道路には银杏を中心に街路樹を植えるとともに花だんを整備して四季おりおりの花を植えて郷土緑化を進めておりますが、四十八年度はこれらの事業をより充実させます。

★沿線緑化推進……千五百九十七万円
道路沿線の緑は、県民生活に直接関わりを持つほか、観光やレクリエーションのための大きな資源でもあります。この道路沿線の緑化を重点的に進め、特に各地域ごとに樹種を選択して、それぞれ特色を出したルートづくりを行ないます。四十八年度は、次のとおりです。

- ① 阿蘇有明観光ルート
- ② 高原レクリエーションルート
- ③ 球磨川沿線ルート
- ④ やまなみハイウェイ

このほかに、東熊本バイパス、田原坂も緑化の拠点とします。また、四十七年度までに植栽を完了した部分および野草園の維持管理も実施します。

★花の銀行……百八十三万円
「花いっぱい運動」の拠点をづくり、地域における運動の定着をはかるため、花の銀行を設けます。
花の銀行は、苗を育てることのできるホ場を持ち、花づくりに熱心な人になってもらいます。善意の人々から、種子等寄附を受け、地域において花の植栽にあ

県は郷土の清掃浄化の手はじめに河川の美化としてその改修とともに江津湖のタイワンナギを除去し、投棄物の除去、護岸雑草の処理に努め、道路は路面、側溝の整備とともに清掃車を購入し、沈廃船の処理、廃棄物処理などを実施してきましたが、四十八年度は更に強力に推進します。

★市街地河川環境対策……千二百二十五万円
河川雑草処理に八百万円、河川投棄物除去に二百五十万円、河川パトロールなどに七十五万円を計上しています。

★江津湖浚渫……三千八百万円
江津湖はその湖面をタイワンナギに占領され、昨年はその除去を行ないました。湖に流入している三つの支川より都市汚水が流れ込み、ヘドロが堆積したため汚濁の原因となっています。県では、昭和三十三年から毎年五百万円を、昭和四十三年からは毎年千万円を投入してその除去につとめていますが、未だ、美しい江津湖にはなっておりません。そこで、四十八年度から浚渫土量四十二万立方メートル、護岸延長千六百メートルを総事業費四億七千五百万円を投じて整備に着手しますが、本年度分として三千八百万円を計上しました。

★市街地河川改修美化……五億四千百万円
中小河川の改良として坪井川に三億八千五百万円、菜切浦川に六千万円を、河川の局部改良として水無川に千六百万円を、都市小河川の改修として藻器堀川に四千万円、健軍川に二千万円、万石川に

たる実践活動に対して、苗や球根を、無償で配付していただくものです。

当面、花の種子等は、県(中央銀行)から配布し、育苗のうえ、植え込むことになりませんが、各地域の花の銀行の自主的運営と住民参加の形が実現することを期待しています。

花の銀行を開設するには、個人でも、団体、グループでもよく、また花の植栽場所は、道路、空地、公共施設などのほか、一般家庭にもひろげて、花を愛する心を育てる効果をめざしています。

★フラワータンク委託事業……二千四百二十二万円
シンボル道路に必要な草花は、四十七年度は県有地を利用して生産しましたが、四十八年度以降は花壇延長も長くなり、植付ける花の種類・本数も膨大となり、このため、花卉産業の育成を考慮して、これを民間に委託して、年間を春、夏及び秋冬の三期に分けて供給態勢を確保することとしております。

★熊本空港緑地造成……千五百三万円
空港周辺一帯に樹木を植栽し、遊歩道等を設置するもので、公害防止、県民の憩いの場、観光客に対する玄関口など多目的の効果をねらったものです。

★美しい学園づくり……千三百一十万円
四十七年度に学制発布百年記念事業として美しい学園づくりを始めましたが、四十八年度は小中学校の緑化補助に五百五十万円を、県立学校には、新設または移転した学校の植栽と運動場緑化などに七百五十一万円を計上しております。

二千万円を計上しました。

★沈廃船・浮游物処理……二百六十一万円
県下の漁港内には三百六十五隻の沈廃船があり、県では四十七年度から五ヶ年計画でその処理を始めました。四十七年度は五十五隻を処理しましたが、本年度は六十隻を処理します。また、海岸線にはビニールなどの浮游物が打ち寄せ美観をそこなっています。本年度は四十七年度より百七十七万円増を計上しています。

★路面清掃……二千五百十九万円
現有する路面清掃車二台を、極力効率的に使用するほか、今年更に、バキュームカー一台を購入して、側溝内堆積物の除去作業を促進し、清潔な、明るい街づくりの原動力としようというものです。

★側溝整備……三千万円
市街地の美観を害する汚ないこわれた側溝、あるいはフタの無い危険な側溝などを整備し、又流末処理の不充分な箇所を改良して、都市美観の向上に役立てようとするものです。

★廃棄物処理対策……一億七千五十八万円
①廃プラスチック処理施設の設置……農業用ビニールの大量処理(溶融固化)に四千五百二十五万円を、②産業廃棄物処理対策……県内の産業廃棄物の月間排出量は約五十六万七千八百四十二トンで家庭排出量の十倍なのでその処理対策に六百八十八万円を、③生活環境保全対策……ゴミ、し尿等の一般廃棄物処理に六百四十九万円を、④市町村がゴミ処理施設等を整備する際の貸付に一億円を計上しました。